

新潟市子ども・子育て会議
第16回「放課後児童クラブ検討部会」会議概要

開催日時	令和元年10月7日（月）午後3時00分～4時45分
会 場	新潟市役所分館1-601会議室
出席委員	植木部会長、関川委員、長谷川委員、政谷委員、山岸委員 欠席：池田委員
事務局等出席者	こども政策課長、同課長補佐、育成支援グループ係長、副主査、 企画管理グループ係長、副主査、 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所、 新潟市社会福祉協議会、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
傍聴者等	傍聴者1名
議事内容	<p>1. 第2期新潟市子ども・子育て支援事業計画のうち、新・放課後子どもプラン関係の記載事項について議論しました。</p> <p>○事務局より、計画の記載内容を説明しました。</p> <p>○記載内容に関連して委員からは以下の意見がありました。</p> <p>（放課後児童クラブについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の余裕教室活用について、児童数が多い小学校は余裕教室も少なく、ひまわりクラブも狭あい化しやすい。余裕教室を利用できれば一番良いが、近くにある公的な機関や余裕のある幼稚園・保育園などの活用も踏まえ検討する旨を盛り込めると良い。 ・「小学校の余裕教室を基本としながら、その他の施設等も活用し」のような文章があると第三者も分かりやすい。 ・1年生と6年生では体力差もあり、静かな勉強環境などニーズも異なる。学校の空き教室を利用できる方向で条例への規定や行政の指導がなされると良い。 ・開所時間の延長について、延長されるとその時間までに子どもを迎えにいけば良いという考え方になってしまうため、子どもが家で過ごす時間を考えれば現状の18時30分のままで良いと思う。 ・親として子どもを安全に見てもらえる場所があるとありがたいし、健全育成の観点から遅くまで預かることが良いのか、開所時間の延長が本当に必要か慎重に考える必要がある。 <p>（子どもふれあいスクールについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAが主体となる事業ではあるが、保護者の負担になってしまうと本末転倒であり、バランスをどうしていくかが今後の課題。地域住民の方に参加してもらうのが事業の本来の姿であり、PTAを通して知り合いの地域の方を紹介してもらうなど依頼の仕方もあり得るかと思う。 ・学校前まで送るようにし、集団下校するように言っているが、下校の様子が気付きである。

議事内容

(一体型の実施について)

- ・ふれあいスクールの運営主任と放課後児童支援員の共通研修については、幅広く現場から研修のニーズを吸い上げて検討できる仕組みがあると良い。
- ・放課後児童指導員の確保が困難な状況や、子どもふれあいスクール運営委員は一定の時間以外はボランティアとなっている状況で、情報を共有しお互いの良さを活かしながら運営しているなかで更に共通プログラム実施のために連携をしていくことが良いことなのか。お互い検討ができる時間を検討する。

2. 放課後児童クラブからのひとり帰りについて、昨年度各放課後児童クラブに対し調査を行った結果について報告を行いました。